
「type 1 Macular Neovascularization に対する Brolucizumab と Aflibercept の混合治療（mix & match 療法）の短期成績に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023 年 10 月 1 日～2025 年 7 月 31 日の間に埼玉医科大学病院 眼科を受診し、加齢黄斑変性と診断され、導入期にブロルシズマブ、維持期にアフリベルセプト（2mg または 8mg）を用いた治療を受けた 30 人（31 眼）の患者さんが対象です。

2. 研究の目的

ブロルシズマブ導入後にアフリベルセプトへ切り替えて行う「mix & match 療法」の効果と安全性を調べ、

- ・目のむくみ（網膜内／網膜下液）の消失率
- ・注射間隔（最長何週間あけられたか）

を比較・検証します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 9 月 15 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

眼底 OCT 画像などの検査データ

- － 視力検査結果
- － 治療記録（注射日・薬剤量・副作用の有無など）
- － 年齢・性別などの基本情報

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 眼科において、研究責任者である濱本 怜が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんの

プライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

加齢黄斑変性と診断された患者さんの検査・硝子体注射を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 眼科 研究責任者：濱本 怜

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 眼科 研究担当：濱本 怜

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町大字毛呂本郷3 8

電話：049-276-1295（平日 8:30～17:30）

研究課題名：type 1 MNV に対する Brolucizumab・Aflibercept 混合治療の短期成績

研究責任者：埼玉医科大学病院 眼科 濱本 怜